

美山おひさまプロジェクト ~2012田歌舎



田歌舎に

おひさま発電所ができました。



# ごあいさつ

## 田歌舎代表 藤原 誉

ご協力、ご賛同いただいた方々、本当にありがとうございました。  
 始まりはやはり3.11、及びふくしまの原発事故。なによりあのような大きな災害を目の当たりにして自然エネルギー推進の必要性を痛切に感じました。そして自分たちにも出来ることを、出来るだけ効果の大きなもので一歩を踏み出して行こう、そう考えたとき、すぐに太陽光発電が頭に浮かびました。まだまだ高額な設備に「どんっ」と払えるお金があるわけではありませんでしたので「ローンを組んででも」、という思いでいたところ、精華大学で板倉先生に別件でお会いしている時の雑談の中できょうとグリーンファンドの存在を教えてくださいました。そんなひよんなきっかけから、多くの皆様を巻き込んで(笑)、きょうとグリーンファンドの皆様と一緒に完成までたどりつけたこと、本当に嬉しく思っています。

田歌舎のような業態は全国3700あると言われる自然学校のひとつでもあります。それぞれの自然学校がそれぞれの特徴、個性を持っていますが、共通する想いは「良い世の中になって欲しい」という願いと、「次の社会を担う子供たちに大切なことを伝えたい」という熱意だと思っています。そしてそんな自然学校だからこそ3.11の後、自然エネルギー推進に向けた情報発信や実践、そして自然エネルギーの体験教育に取り組む団体が数多く生まれてきました。

田歌舎はそんな自然学校の一つとして「自然学校自然エネルギー推進ネットワーク」の実行委員会に加わりました。この秋140名近くの参加者を集めた関西フォーラムでは「美山おひさまプロジェクト」の報告もできました。

きょうとグリーンファンドとの協働で始まった「美山おひさまプロジェクト」。心より自然エネルギーの輪が地域に広がることを願っています。太陽光だけでなく豊かな水資源を生かした小水力発電や風力や、間伐材利用など含めて地域共同でエネルギーをまかなうコミュニティーエネルギーを実現できないかなと、少しずつですが目指す将来が見えてきました。

これからも「遊・食・住+エネルギーの自給」のモデルケースを目指して田歌舎は頑張っていきます。実践と発信の両面を大切に永続可能な世の中作りに今後とも微力ながらも携わっていきたくと思います。

本当に大切な活動へ。皆様これからもご支援のほどよろしくお祈りします。

## きょうとグリーンファンド理事長 板倉 豊

田歌舎のみなさま、おひさま発電所完成おめでとございます。

きょうとグリーンファンドがお手伝いしたおひさま発電所は16カ所となりますが、思い返せば、いつも何かしらエコのご縁があり、今回もそれを感じています。私が勤務する京都精華大学の学生さんを通して、田歌舎の藤原さんを紹介され、ぜひ、国に申請する書類の推薦人になってほしいと依頼を受けたのが、ご縁の始まりでした。

私は趣意書をよく読み、その志をよとし、意気を感じ引き受けました。その後は、田歌舎に大学の業の一環であるインターンシップ生の受け入れもいただき、ますますご縁が深まりました。

今回は、きょうとグリーンファンドの設立趣旨をよくご理解いただき、ぜひ田歌舎にもおひさま発電所を設置したいというお申し出をいただきました。まさに「あうん」の呼吸、環境に対する同じ志を強く感じた次第です。

今後は、このおひさま発電所が田歌舎の環境プログラムと合致し、ますます、この美山の地でエコロジーの発信基地になれんことを希望するとともに、次々とおひさま発電所が誕生することを期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 発電所作り スタート!



9月。発電所作りスタート。太陽光パネルの設置工事ははじまりました。



全部で67枚のパネルが一週間ほどで据え付けられました。



美山在住のアーティストにも参加いただきました。力強い歌声。



料理準備に追われる田歌舎スタッフ。



おひさまパンもできました



# おひさま ライブ



ブラッキー@中島さんの楽しいステージ。



看板も本日はライブ仕様。



明りが灯り、ますます盛り上がる会場。



プロジェクトの考えに賛同してくださるプロモーション「ソラネコ」の皆さん。

# 点灯式 ☆ 2012.10.21



いよいよ点灯式。まずは、代表藤原が自然エネルギーに対する思い、ご協力いただいた方々へのお礼を申し上げます。



太陽光パネルの裏面には、寄附くださった皆さんのお名前を記入しています。



おひさまの電気で鳴り響くすてきな音楽。



田歌舎の施設案内も行いました。

設置会社のエコテックさんより説明を受けます。参加者の方たちからは色々な質問が出ていました。

田歌舎のおひさま発電所は、多くの方のご協力の力で完成しました。

## ガイドツアー

美山の豊かな身近な自然を、楽しみながら「大切なこと」を、気持ちも伝えたい。

## お知らせ

遊・食・住+エネルギーの自給を実感できる「新柚人体験プログラム」(自給的暮らしの体験&スタディープログラム)が新しく出来ました。詳しくはHPをご覧ください。

# 遊

## 猟師

男性スタッフのほとんどが現役猟師。地元のベテラン猟師とチームを組み、年間100頭以上の獣を捕獲する。



## 獣肉

野生のシカやイノシシは山の豊かな食材。レストランや宿泊はもちろん、肉の販売も行う。



## 野菜きのこ

低農薬で育てる新鮮野菜やきのこ栽培の他に、山菜や天然きのこも豊富な食材になる。



## 田んぼ

苗作りから乾燥、脱穀まで自分たちの手で行う。田歌の冷涼な気候と美しい水で作るとびきりおいしいお米。

## 動物たち

猟の手伝いやお乳を提供してくれる働きもののスタッフたち。



# 田歌舎はこんなお店

# 食

## 水

生活水はすべて天然の湧水。水の落下で圧力をかける無動力水道。



## レストラン & カフェ

手作りの空間で味わう、山里の恵みをたっぷりのスローフード。



# 住

## 宿泊

旬の料理と周りに広がる美しい景色。ゆったりとした田舎時間が楽しめる。



## 建築

地元産、国産の木材にこだわった木を切るところから始まるスタッフ手作りの建物。

## 事業の概要

「田歌舎おひさま発電所」は、田歌舎とNPO法人きょうとグリーンファンドが連携し、多くの市民の参加・協力で京都府南丹市美山町にある田歌舎に、10kW規模の太陽光発電設備を設置したものです。事業費は、田歌舎の資金、市民からの寄附、設置協力金、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、京グリーン電力運営協議会の寄附でまかなわれます。設置後は、田歌舎・きょうとグリーンファンドが協力して、地域に再生可能エネルギーを広げる活動を進めていきます。

後援：京都府、南丹市、南丹市エコタウン推進協議会、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京グリーン電力運営協議会、特定非営利活動法人KES環境機構  
協力：NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民、関西自然教育ネットワーク(KENN)、NPO法人芦生自然学校

## 発電所データ

設置場所： 京都府南丹市美山町 田歌舎

設置日： 2012年10月21日

発電能力： 10.05 kW

太陽電池モジュール SF150-K(150Wp) 67枚

パワーコンディショナー SPC5502(5.5kW) 2台

総事業費： 約489万円

設置協力金： 230万円 (23口)

寄附額：40.9万円 (81件/個人・団体)

寄附募集期間：2012年6月1日 ~ 2012年11月30日

助成金：京グリーン電力運営協議会 33.6万円



## 京グリーン電力運営協議会

京グリーン電力運営協議会は、京都産の太陽光発電の電気を、京都の環境意識の高い消費者に買ってもらうという取組をしています。それは電気代にちょっと上乗せをして、グリーン電力証書を購入していただくことなのです。そして上乗せ金の一部は、発電してくれた発電所のみなさんにおかえしすると共に、新しい「おひさま発電」設置のための寄附にもなります。田歌舎さんに10kWの太陽光発電を設置する費用の一部ではありますが、多くの皆さんの思いがこもった寄附としてお届けすることができましたことをうれしく思っています。今後のさらなる広がりを期待いたします。

## 田歌舎

レストラン、宿泊、そして様々な自然体験を開催する田歌舎。宿泊棟やレストランの他に約1町の田畑、そして山林を有し、スタッフ自らが農業、狩猟、採集、建築などの自給的な暮らしを実践しています。施設を訪れるお客様は田歌舎周辺の豊かな森を散策したり、すぐそばに流れる清流美山川で楽しむことができるほか、農園などで働くスタッフたちや、ヤギや合鴨など動物とのふれあいなど、豊かな自然と暮らし、そして遊びを大切にしたい田歌舎の営みを身近に体感することができます。レストランや宿泊のお客様は米、野菜はもちろん、天然のキノコや山菜、そして鹿や猪といった獣肉など、四季を通じてその時々旬の食材をふんだんに使った豊かなスローフードメニューを楽しむことができます。



また自然体験ではアウトドアスポーツも充実しており、ラフティング、カヤック、キャニオニングといったリバースポーツのほか、冬にはスノーシュー、XCスキーツアーを常時開催しています。

森の体験では自然との共生の視点を大切にしたいネイチャーガイド、トレッキングのほか、けもの道トレッキングや猟師体験プログラムなど、スタッフの多くが狩猟者でもある田歌舎ならではの個性的なプログラムも行っています。その他、鹿や鶏の解体体験などの命の体験は通年開催しています。

スタッフ全員が山村に暮らし、本業として農業、狩猟、採集などを行う田舎暮らしの実践者であることを大切にしながら、参加者の皆さまをお迎えしています。

## 特定非営利活動法人(認定NPO法人) きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の暮らしと社会をめざしながら、自然エネルギーを広める活動を続けています。多くの方々からの寄附を積み立てた「おひさま基金」を活かして、保育園や幼稚園など地域の施設に環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっています。

2012年10月までに京都で16か所の「おひさま発電所」が完成しました。

### 田歌舎(たうたしや)

〒601-0702 京都府南丹市美山町田歌上五波1-1  
tel 0771-77-0509 fax 0771-77-0539  
e-mail field-songs@tautasya.com  
URL <http://www.tautasya.com>

### 認定NPO法人 きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21事務機のウエダビル206  
tel/fax 075-352-9150  
e-mail info@kyoto-gf.org  
URL <http://www.kyoto-gf.org/>

